

「一般社団法人日本医療・病院管理学会誌」

執筆要領

1. 原稿種別について

研究論文	独創的で理論的または実証的な研究成果を内容とし、目的、方法、結論、考察について明確なもの。
研究論叢	独創的ではあるが、上記と比べてより自由な形式にしたがった総説等の学術性の高いもの。
研究資料	特色ある資料、調査、実験などの報告で、「研究論文」としての基準に達しないが、新しい知見を含み、学術的に価値の高いもの。
報告	その他、編集委員会により掲載が適当と判断されたもの。
編集委員会への意見	掲載論文に対する紙上討論、編集方針に対する意見。

2. 本文

- a. 「研究論文」「研究論叢」「研究資料」「報告」としての投稿原稿は、原則として表題・和文抄録・文献・図表を含め、刷りあがり 8 ページ (12,000 字) 以内とする。ただし、編集委員会が必要と認めた場合、超過ページ数に相当する規定料金を徴収して、掲載することがある。この場合でも、刷りあがり 12 ページを限度とする。
- b. 「編集委員会への意見」は表題を含め刷りあがり 1 ページ (1,200 字) 以内とする。
- c. 本文は、常用漢字 (固有名詞・専門用語は除く)、新かなづかいで、A4 サイズ紙に、1 頁おおよそ 1,000 字とし、横書きとする。また 5 行ごとにページ内行番号を記し、ページ番号をすべてのページ下部に記すこととする。
- d. 外国語は原語の活字体またはカタカナを、数字は算用数字を、度量衡単位は c. g. s. 単位をそれぞれ用いる。
- e. 項目分けは、章、節を用いず、I...A, 1...a を用いる。
- f. 投稿原稿の内容が倫理的配慮を必要とする場合は、必ず「方法」の項に倫理的配慮や研究対象者への配慮をどのように行ったかを記載すること。なお、ヒトを対象にした研究では、ヘルシンキ宣言ならびに文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」あるいは他の適切な指針に従うこと。倫理審査委員会の承認を得て実施した研究は、承認した倫理審査委員会の名称および承認年月日を本文中 (方法) に記載する。

3. 経済的支援および利益相反の開示

- a. 当該研究遂行や論文作成に際して、企業・団体等から研究費助成、試料提供、便宜供与などの経済的支援を受けた場合は、謝辞等にその旨を記載しなければならない。
- b. 全ての著者 (共著者を含む) は投稿時に『日本医療・病院管理学会 医療・病院管理学

研究の COI（利益相反）に関する指針』及びその細則に従い、「日本医療・病院管理学会 COI 自己申告書（研究成果発表時）」および必要に応じ「日本医療・病院管理学会 COI 自己申告書（配偶者等）」を提出しなければならない。申告書の内容については、原稿中の「COIに関する事項」にその旨を記載する。COI 状態がない場合も、「COIに関する事項」に「開示すべき COI 状態はない。」などの文言を記載する。

4. 図表・写真

a. 図および表は、別紙に書き本文中に挿入する位置とおよその大きさを付記する。

A（刷りあがり 1 ページ） 1,600 字相当

B（刷りあがり 1/2 ページ） 800 字相当

C（刷りあがり 1/4 ページ） 400 字相当

D（刷りあがり 1/6 ページ） 250 字相当

但し、最終掲載の大きさは編集委員会の決定による。

b. 添付写真は参考に縮尺を示す。

5. 文献

a. 引用ならびに参考文献は、本文の引用個所の右肩に番号をつけ、本文末尾に一括して掲げること。

例： ……である¹⁾。
……である^{1,2)}。
……である¹⁻³⁾。
……である^{1-3,5)}。
……である^{1,5,7)}。

b. 雑誌の場合は、著者名、表題、雑誌名、巻数（号数）、頁-頁、発行年の順に記す。この際、頁には文献の最初の頁と最後の頁を記載する。また、通巻頁が付されている場合には、号数を略してもよい。発行年には西暦を採用する。なお著者名は、原則として筆頭者以下 3 人までは全員の氏名を記し、4 人目以降については省略して“他”または“et al”を付ける。

〈例〉

大道久，梅里良正，中村晃，他，医療費構造から見た大学病院の診療特性の比較に関する研究，病院管理，26(3)，199-207，1989

Mills R, Fetter RB, Riedel DC, et al, AUTOGRP: An interactive computer system for the analysis of health care data, Medical Care, 14(7), 603-615, 1976

- c. 編集された本に収められた論文の場合には、著者名、論文表題、書名（編集名）、発行所（発行地）、頁-頁、発行年の順に記す。

〈例〉

宮澤健一，社会保障思想の生成と背景，社会保障論の新潮流（社会保障研究所編），有斐閣（東京），3-9，1995

- d. 単行本の場合は著者名、表題、発行所（発行地）、頁-頁、発行年の順に記す。この際に、内容を全般的に引用する場合には、頁は記載しなくてもよい。

〈例〉

古谷野亘，長田久雄，実証研究の手引き，ワールドプランニング（東京），154-157，1992

Armitage P, Berry G, Statistical Methods in Medical Research 3rd ed., Blackwell Science (Oxford), 375-380, 1994

Pocock SJ, Clinical Trials: A Practical Approach, John Wiley & Sons Ltd. (Chichester), 1983
（コントローラー委員会監訳，クリニカルトライアルーよりよい臨床試験を志す人たちへ，篠原出版，1989）

- e. Web サイトの場合は、作成者（分かれば）、タイトル、アドレス（URL）、アクセスした日付の順に記す。

6. 脚注について

- a. 本文中記載しない詳細な説明やデータをつけるときは、文中の該当個所の肩に、注 1) のように注と番号をつける。
- b. 原稿末に、注、引用・参考文献の順でまとめる。

7. 抄録とキーワード

- a. 「研究論文」「研究論叢」「研究資料」「報告」には 400 字以内の和文抄録をつけること。英文抄録については掲載が決まった段階で、編集事務局が業者に作成を依頼し、その費用は投稿者の負担とする。著者は、翻訳業者の作成した「英文抄録」をゲラの段階で訂正できるが、その場合の責任はすべて著者にある。なお、投稿者が自ら作成した英文抄録のチェックをネイティブ等に依頼し、点検を受けた事実について記載があれば、翻訳費用の負担を求めない。
- b. キーワードは 6 つ以内とし、和文抄録の後に付ける。但し、「編集委員会への意見」の場合は抄録およびキーワードは必要ない。キーワードの翻訳は、抄録と同じ手順で行う。

8. 表紙

- a. 本文、抄録とは別に、定められた様式の表紙を付ける
様式は下記よりダウンロードする。
https://www.jsha.gr.jp/wp-content/uploads/FORM_1.doc
https://www.jsha.gr.jp/wp-content/uploads/FORM_2.doc
和文、英文それぞれに、表題、原稿種別、著者名、所属機関等を記すこと。
- b. 共著の場合は、主たる著者を筆頭とする。また、連絡先は必ずしも筆頭者でなくとも差し支えない。
- c. 本文の字数、および図表の数を所定欄に記入する。
様式1（和文）
様式2（英文）

9. 超過ページ・図版・写真・別刷り・英訳の代金

- a. 掲載されたもので、規定ページを超過する場合は、1ページ超過するごとに、超過ページ料として、超過ページ料として、10,000円を徴する。
- b. 図版費、写真掲載について、トレースや特別な加工が必要な場合、掲載後費用を請求することがある。
- c. 別刷りは、表紙付き50部単位、1部ごとに200円を徴する。なお規定の8ページを超えるページは1ページごとに10円を徴収する。

2022年6月30日改訂